

2019年10月15日

プレスリリース

## 耳栓の国内トップシェアブランド「サイレンシア®」 「サイレンシア® バラエティパック」を 2019年10月下旬に EC 先行で新発売！

DKSH ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：マイケル・ロフロード）は、同社が取り扱う耳栓の国内トップシェアブランド「サイレンシア®」より、「サイレンシア® バラエティパック」を10月下旬より EC 先行で発売いたします。



「サイレンシア® バラエティパック」は、サイレンシアで人気の6種類の耳栓をワンパックにしました。異なるサイズやシェイプをお試しいただけるので、一人一人の耳に合った耳栓を見つけることができます。またカラフルな耳栓で見た目も楽しく、ジッパー付きの袋で持ち運びにも便利です。

サイレンシア®は、外耳道のサイズや形が人それぞれ異なる点に着目し、商品展開をしてきました。小さな外耳道に大きな耳栓を装着すると、耳奥が圧迫され痛くなったり、不快な感じがしたりします。一方、大きな外耳道に小さなサイズの耳栓を装着したのでは、遮音性能が十分となりません。

近年、大音量のライブや長時間のイヤホン利用により、若者の難聴が問題となっています。聴力は老化と共に衰えていくものと思われていますが、生活習慣の影響も大きく、WHO（世界保健機関）は、音楽プレーヤー等で難聴リスクを抱える若者が世界で11億人いると警鐘を鳴らしています。<sup>\*1</sup>

難聴は一度なったら治らないため、耳栓を上手に活用することで、難聴予防をしましょう。

「サイレンシア®」は、騒音から耳を守ることはもちろん、移動中の電車内や就寝時、集中力を高めたい時など様々なシーンで皆様の生活をサポートします。

## <製品情報>

商品名： サイレンシア® バラエティパック  
価格： オープン価格（6ペア入り）  
素材： ポリウレタン  
原産国： アメリカ、スウェーデン  
遮音値\*2： NRR 30dB ~ 32dB\*3

※各耳栓の詳細はホームページをご確認ください。<http://silencia.jp/info/191020.html>

\*1 参考資料：WHO「Deafness and hearing loss」

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/deafness-and-hearing-loss>

\*2 遮音値 NRR（Noise Reduction Rating）

EPA（米国環境保護庁）によって定められる遮音性能の指標。DKSH ジャパンが取り扱う耳栓は第三者機関で実施された試験結果に基づく遮音値を表示しています

\*3 NRR:32dB

（例）交通量の多い道路（約85dB）が静かなオフィスレベル程度（約50dB）になる遮音力

### ■ サイレンシア®について (<http://silencia.jp/>)

サイレンシア®は、耳栓のトップブランドで、耳を大切にしながらストレスを軽減し、心地よく生活するために欠かせない商品です。1986年、日本ではまだ硬いゴム製が主流だった中、アメリカで開発されたやわらかい耳栓の特性に着目し、日本に紹介したところからスタートしました。ソフトで耳に優しくピッタリとフィットし効果的な遮音性が特徴で、ベストセラーのレギュラーをはじめ、女性用や子ども用、水泳用や気圧変化による耳の痛みを軽減する飛行機用などさまざまな商品でお客様のニーズにお応えしています。

### ■ DKSH ジャパンについて

DKSH ジャパン株式会社は、世界35のマーケットに825拠点を有するスイスのグローバル企業「DKSHグループ」の一員です。1865年（慶応元年）に横浜で創業した「シibel・ブレンワルド商会」を源流として、日本の産業と文化の発展に貢献してきました。2009年4月に社名を日本シibelヘグナーからDKSH ジャパンに改称、2015年11月に創業150周年を迎えました。

「DKSHグループ」は、アジア諸国に強固なネットワークとブランド力を持ち、ビジネスパートナーに新規および既存市場でビジネスの拡大と利益をもたらす「マーケットエクспанションサービス」のリーディングカンパニーであり、DKSH ジャパンはその中核を担っています。

現在、DKSH ジャパンは「消費財事業部門」「生産資材事業部門」「テクノロジー事業部門」の3つの事業部門を展開しています。消費財事業部門は、スイス時計「オメガ」や「モンディーン」などを日本に伝え広めるなど、高性能のスイス時計や筆記具の輸入取扱いとして長い歴史と経験を有しており、現在もモリスラクロアなどの高級時計、ファーバーカステルやラミーなど歴史ある高品質の筆記具を扱っています。

### 本件に関するお問合せ：

DKSH ジャパン株式会社 消費財事業部門 セーフティプロダクツ 本多  
Phone 03-5441-4517 / [natsumi.honda@dksh.com](mailto:natsumi.honda@dksh.com)

### DKSH ジャパンに関するお問合せ先：

DKSH ジャパン株式会社 コーポレート・コミュニケーション 牧  
Phone 03-5730-7342 / [asuka.maki@dksh.com](mailto:asuka.maki@dksh.com)